

こんにちは。トリプルアイズの白石です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

今回のコラムは「囲碁 AI はさらなる進化を遂げていた！ 第 13 回 UEC 杯参戦記」です。

トリプルニュースでは、「アゲアゲちゃん TVer 配信中」「大学教育改革フォーラム」「防衛事業参入促進展示会」についてお届けします。

ぜひ最後までご覧ください！

-----<目次>-----

1. 囲碁 AI はさらなる進化を遂げていた！ 第 13 回 UEC 杯参戦記
2. トリプルニュース
3. IT 批評
4. 編集後記

1. 囲碁 AI はさらなる進化を遂げていた！ 第 13 回 UEC 杯参戦記



コンピュータ囲碁は現在の AI ブームの一つの大きな火付け役であるとともに、AI 技術の限界や応用分野を考える上で重要な研究テーマです。

2016年にAlphaGo（アルファ碁）が人間のプロ囲碁棋士を破って以降も、囲碁AIは世界で進化を続けています。囲碁AIで得られた技術はゲームにとどまらず、画像解析などさまざまな分野に応用され、いまでは社会実装されるに至っています。トリプルアイズの画像認識プラットフォーム・AIZEもそのひとつです。

そんな囲碁AIの技術力を競う世界大会「第13回UEC杯コンピュータ囲碁大会」が3月5日（土）、6日（日）の2日間にわたり開催され、トリプルアイズも運営兼出場チームとして参加してまいりました！

大会には中国、フランス、日本より強豪17チームが参戦。前回王者の「VisionGo」（中国）をはじめ、初出場のチームにも注目が集まりました。さて、優勝はどのチームが手にしたのでしょうか？ 運営委員である当社エンジニア片淵博哉に今大会を振り返ってもらいました。

Aリーグ優勝は、初出場プログラム「YILEGO」（中国）

ここがすごかった！

- ・AIが苦手な詰碁的な部分のミスがほとんど見られなかった
- ・他のAIと比べて明らかに局所戦が強い
- ・盤面評価と探索のポリシーが相対的に優れていた
- ・プロが絶対間違えないような、もし間違えると即敗北に繋がる“**ルールではないテクニック**”を持つ

昨年7月、中国大会「福建銀行杯」で初お披露目された新しいプログラムが1位に輝くという予想できなかった展開。トリプルアイズの「Kohada」も決勝戦で対決するものの、初手パスのバグが出てしまい、押し切られ敗北となりました。

片淵は「**“ルールではないテクニック”の学習をどのように行ったのか、とても気になった**」と語りました。今後の開発テーマの一つとなりそうです。

全体の感想としては、「**参加者は自分のAIがとにかく1位になることを目指すというよりは、皆でAIの良いところ・悪いところを考えたり、自分のAIを披露することを主目的としているようだった**」と述べ、囲碁AIの技術力を底上げする要素が強い大会だということが伺えました。

順位を競うことだけを目的とせず、他プログラムの技術力に刺激を受けて楽しんだり、それぞれが今後の研究課題を見つけられるきっかけにもなります。

技術者たちの熱い思いが今後もAI進化のスピードに拍車をかけていくことでしょう。トリプルアイズも囲碁AIの研究開発を通じてさらに技術力を高め、日本代表のAIベンチャー企業として邁進してまいります。アップデートしていく技術力にぜひご期待ください。

2. トリプルニュース

AIZE が全面協力したバラエティ番組「アゲアゲちゃん」TVer で 3 月 17 日まで配信中！

先日当メルマガでお伝えした「アゲアゲちゃん」ですが、3 月 3 日より 3 月 17 日まで TVer で配信中です。



<https://tver.jp/feature/f0099842>

「アゲアゲちゃん」は、北海道・愛知・福岡のご当地プレゼンターが仰天地元ネタを熱血プレゼン！ 凹んだゲストとニッポンを元気にするご当地プレゼンバトルです。数々の仰天 VTR から No.1 アゲアゲネタを決めるのは最先端の AI 技術。凹みゲストの表情を AI で読み取り、アゲアゲになっている数値を測定、最先端の科学の力で導きだします。

ゲストの表情をリアルタイムで計測するのに使われたのが当社の AIZE です。4 分 16 秒あたりで黄色いウインドブレーカーを着た当社エンジニアも紹介されています。エンドロールに当社のロゴが流れてきて感激しました。ぜひご覧ください。



「大学教育改革フォーラム」で AIZE が紹介されました

2022 年 3 月 5 日 (土)、オンラインで開催された「大学教育改革フォーラム in 東海 2022」において、当社の AIZE

が紹介されました。

大学教育改革フォーラムは、ウィズコロナにおける高等教育について議論する機会として開催され、基調講演と分科会、体験型のワークショップなどとともに、最新の教育機器のオンライン展示も行われ、学内における感染症対策のツールとして AIZE が紹介されました。

<https://sites.google.com/view/tokaiforum2022/>

<https://contents.coanet.com/university-forum-2022>

防衛事業参入促進展示会に AIZE を出展いたしました

トリプルアイズ は、2022 年 3 月 7 日（月）・8 日（火）にホテル グランドヒル市ヶ谷で行われた防衛装備庁が主催した防衛事業参入促進展示会に AIZE を出展いたしました。

同展示会は、防衛省・自衛隊のニーズに応えることが可能な技術、製品を有する中小企業等の防衛産業への参入機会を創出することを目的としたものです。

AIZE は完全自社開発の純国産 AI であることや連携するハードウェアに制約がないことなどをアピールいたしました。

3. IT 批評

今週は新着記事を 2 本ご紹介します。

【歴史の終わりとウクライナ侵攻 シミュラクルとしてのメタバース】text 桐原永叔

今話題のメタバースについて。現代思想の足跡から、メタバースとは何かについて考えるための論点を挙げています。<https://it-hiyou.com/>

【今ここにしかない体験を資産化する未来のクラブ運営 ——いち早く NFT に取り組む南葛 SC・岩本義弘 GM に聞く】



関東 1 部リーグながら、サッカー界の話題をさらっている南葛 SC の岩本義弘 GM に話を伺いました。

南葛 SC といえば『キャプテン翼』の作者である高橋陽一先生が代表を務めていることでも有名ですが、昨年
にクラブトークン（NFT）を発行して、多額の資金を集めたこともニュースになりました。

本記事では、スポーツビジネスにおける NFT の可能性について話を伺いました。

<https://it-hihyou.com/>

編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございました。

第 13 回 UEC 杯コンピュータ囲碁大会が開催された 3 月 5 日は、奇しくも創業者・福原智の一周忌でした。福原
創業者も応援してくださっていたことと思います。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！
